



2022年4月8日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

LCI Helicopters Limited

ヘリコプターリース事業における新世代機材の取得について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）と LCI Helicopters Limited（CEO：Jaspal Jandu、以下「LCI」）は、共同で運営するヘリコプターオペレーティングリース会社の SMFL LCI Helicopters Limited（以下「SMFLH」）において、新たに5機の新世代ヘリコプターを取得しました。

取得するヘリコプターは、Airbus Helicopters 社製 H145 4機、Leonardo 社製 AW139 1機の計5機で、安全に係る視認性の高いアビオニクス（航空電子機器）やオートパイロット等の最新機能を標準搭載しており、救急医療のための搬送などを主な用途とし、欧州およびアジア地域に導入される予定です。

今般の取得により SMFLH の所有するヘリコプター機材は 2020 年 6 月の事業開始時の 19 機から 2022 年 4 月時点で 38 機に増加し、約 2 年間で 2 倍の事業規模（資産評価額：約 4 億 2 千万ドル相当）になります。機材の 75%以上が緊急医療搬送、探索救難、洋上風力発電への搬送を主な用途として使用されており、事業を通じて、環境、医療、災害対応を始めとする社会課題の解決に貢献していきます。

SMFL は、SMFL グループの強固な財務基盤や信用力を背景に、トランスポーターション事業で培った知見やノウハウを活用することで、SMFLH の事業を成長させてきました。これからも、先々を見据えて積極的に事業を展開していくことで、社会からの要請に応えていきます。

LCI は、ヘリコプターリース事業における多様化を推進することで同事業を拡大してきました。LCI の経営陣は多岐にわたる知見や経験を有し、ヘリコプターやエンジンメーカー、顧客、金融機関等との間で力強い関係を構築しています。今後もこれらを基盤にさらなる成長を図ります。

【SMFL LCI Helicopters の概要】

商号	SMFL LCI Helicopters Limited
本社所在地	6 George's Dock, IFSC, Dublin 1, Ireland
事業開始	2020 年 6 月
株主（出資比率）	SMFL（90%）、LCI（10%）
事業内容	ヘリコプターリース事業
総資産	約 4 億 2 千万ドル
保有機材	38 機

【LCI Helicopters の概要】

商号	LCI Helicopters Limited
拠点	ダブリン、ロンドン、ニューヨーク、シンガポール
代表者	Jaspal Jandu
設立年月	2011 年 10 月
株主（出資比率）	Libra Holdings（100%）
事業内容	ヘリコプターリース事業
保有機材	約 100 機（中型機から準大型機中心）

以 上

【事業に関するお問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 航空事業開発室 片岡 TEL 03-6695-3989

【プレスに関するお問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部 山本 TEL 03-5219-6334